



あ し さ と

葦の里 No.19

教育目標「賢く 優しく たくましい 生徒の育成」～地域とともに9か年の学びの中で～

嬉野市立吉田中学校
令和7年12月16日
文責：校長 土岐洋二

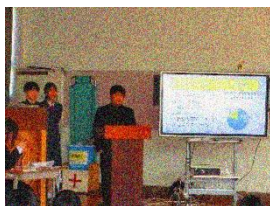
〇いじめ予防講話

12月3日(水)に、県弁護士会が行っている「弁護士によるいじめ予防派遣授業」を1年生で実施しました。この取組は、実際の事例に触れる弁護士が、いじめが起こる前に、または、いじめがひどくなる前に、いじめについて児童・生徒の皆さんと一緒に考え、それによっていじめを減らしたいと思い実施されている出張授業で、本校では昨年度も実施しています。今年度は、吉武秀将弁護士にお出でいただき、実際の事例に触れていただきながら学びました。吉武先生ありがとうございました。



〇人権集会での学び

12月8日(月)に、人権週間の取組の一つである人権集会を2年生の実行委員の進行で開催しました。人権アンケートの結果と考察、人権について、アサーショントレーニング、人権啓発ビデオ「立ち止まる」の視聴の4つの内容で、人権について全校生徒で考えました。YouTube上に全国中学生人権作文コンテスト入賞作品朗読集がありますので、ご家族で視聴されてみてはいかがでしょうか。



【人権集会の感想より(抜粋)】

- ・世界には、人権があるはずなのに差別をされている人がいるということを忘れずに生活したい。また、自分ができることは何かも考えて行動していきたい。
- ・人の気持ちを考えながら発言したり、行動したりするのは難しいことだけど、一度発言する時は、よく考えて話そうと思いました。
- ・こうやって考えることや気付いて終わりにするのではなく、これからどう生かせるかなどについて考えていって行動にうつしていきたい。

〇釜炒り茶体験会

12月9日(火)に、市役所茶業振興課、嬉野釜炒り茶協議会、JAの皆さんにお出でいただき、嬉野の伝統的な手炒り釜炒り茶の体験を通して、未来にこの釜炒り文化を繋げることを目的とした「釜炒り体験会」を実施しました。手揉み釜炒り茶についての説明を受けた後、「炒葉」と「揉み」を参加したすべての生徒が体験しました。香り、手触り、釜の熱さなどを感じ、よい体験になったと同時に、ふるさと嬉野のもつ素晴らしさを感じる貴重な機会になったのではないかと思います。



【釜炒り茶体験会に参加して(抜粋)】

- ・(釜炒りを)やっているのは、全国でも少ない地域のみだと分かったので、これからも嬉野で釜炒り茶を作る人がいて欲しいなと思いました。
- ・職人さんの手さばきがとてもすごくて、熟練した技で何年もやってきたのかと思うと、とても驚きでした。
- ・初めて釜で炒ってみて、すごく特徴的な釜の形だったし、そのおかげで上においが来るから、炒っている時にすごく良いにおいがしました。

〇吉田保育園での学び

12月5日(金)に、吉田保育園を訪問させていただき、3年家庭科の保育に関する学習にご協力いただきました。吉田保育園の皆さんには、園児の皆さんとの貴重なふれあいの時間をいただき、誠にありがとうございました。



※たより内の写真はアート加工を施しています。